

# 筑波教育学研究

第 3 号

2005年3月

筑波大学教育学会

# 目 次

## 〈巻頭言〉

「共通理性」と教育 宮 寺 晃 夫 i

## 〈特別寄稿〉

1951年とわたし ..... 倉 澤 栄 吉 1

## 〈依頼論文〉

デューイの日常生活概念の考察 ..... 佐々木 俊 介 9

## 〈投稿論文〉

1970年代のアメリカ社会科における  
シチズンシップ教育改革論議の特質  
—「参加」の視点から— ..... 唐 木 清 志 25

総合学科改編の決定をめぐる教員の意識  
—筑波大学附属坂戸高等学校の  
教員意識調査に基づいて— ..... 服 部 次 郎 43

日本の教員研修留学生プログラムに関する研究  
—筑波大学の事例を踏まえて— ..... カンピラパーブ・スネート 63

ライシーム運動における教授情報の普及とその理念  
—1830年代前半のマサチューセッツ州の  
タウンにおいて— ..... 古 川 明 子 85

韓国人日本語学習者の  
コミュニケーションにおける問題処理方略 ..... 李 賢 珍 101

〈研究ノート〉

学校経営におけるブランド・マーケティング戦略の可能性

—高等学校における事例分析を通して— …… 安井智恵 121

〈実践報告〉

筑駒SSH研究報告

—「研究開発」と「学校づくり」について— …… 井上正允 143

〈研究動向〉

社会教育・生涯学習研究の近年の研究動向

—日本社会教育学会・日本生涯教育学会の

年報の検討— …… 手打明敏 163

〈書評〉

門脇厚司著

『東京教員生活史研究』 …… 陣内靖彦 179

河原国男著

『徂徠学の教育思想

—日本近世教育思想史における

「ヴェーバー問題」— …… 門脇厚司 185

外池智著

『昭和初期における郷土教育の施策と実践に関する研究

—『総合郷土研究』編纂の

師範学校を事例として— …… 伊藤純郎 195

学会彙報（平成16年1月～12月） …… 201

『筑波教育学研究』投稿規程 …… 204

編集後記 …… 205

# 学会彙報 (平成16年1月～12月)

平成16年1月から12月までの学会の主な事業・活動は以下の通りである。

## I. 第3回学会大会

平成16年3月20日(土)に筑波大学学校教育部を会場として開催された。下記に紹介するように、午前の自由研究には11件の報告があり、午後からはシンポジウムが開催された。学会大会参加者は約60人であった。

なお、学会大会期間中に全国理事会(出席理事11名)と総会が開催された。

### 第1分科会 司会 吉田 武男(筑波大学教育学系)

#### 1. 日本における法教育の展開と課題

江口 勇治(筑波大学学校教育部)

#### 2. 現代アメリカ政治教育理論における「自律性」と「宗教的多様性」

— Yoder 判決および Mozert 判決に対する諸議論の分析を通して—

平井 悠介(筑波大学(院・博)教育学研究科)

#### 3. ライシーアム運動における教授情報の普及とその理念

—1830年代前半のマサチューセッツ州のタウンにおいて—

古川 明子(筑波大学(院・博)教育学研究科)

#### 4. 教育基本法と憲法政教分離原則の新しいケース

—国立大学の神社及び神社公民館—

藤原 英夫(帝京大学)

### 第2分科会 司会 藤田 晃之(筑波大学教育学系)

#### 1. 大学院における高度専門職業人養成のための経営教育の授業法に関する実証的研究—ケース・メソッドにおける教師の授業意図に焦点を当てて—

佐野 享子(筑波大学大学研究センター)

#### 2. 地域開発における教育の役割

—タイ国の Community Learning Center の活動の分析を中心に—

細川 綾（筑波大学（院・修）地域研究科）

3. 新しいタイプの単位制高校の動向に関する一考察

安井 智恵（筑波大学（院・修）教育研究科）

4. 成長期における運動有能感と体育授業に対する好嫌度

小澤 治夫（北海道教育大学）

第3分科会 司会 服部 次郎（筑波大学学校教育部）

1. 生き方教育としての進路指導の充実に関する研究

—高等学校総合科「産業社会と人間」からの示唆—

國友 順子（筑波大学（院・修）教育研究科）

2. 求められる学生像—国公立大学推薦入試から考える—

太田 博也（三重県立川越高等学校）

3. 附属学校におけるカリキュラム開発に関する実際研究

○飯田 範子（筑波大学 学校教育部）

○青木 猛正（筑波大学附属坂戸高等学校）

江口 勇治（筑波大学学校教育部）

佐野 享子（筑波大学大学研究センター）

大平 典男（筑波大学附属坂戸高等学校）

李 禧承（筑波大学（院・博）教育学研究科）

小野 智一（筑波大学（院・博）人間総合科学研究科）

◇シンポジウム

『学校教育におけるリーダー教育の可能性と課題』

シンポジスト：小松 郁夫（国立教育政策研究所）

井上 正允（筑波大学附属駒場中高校）

田中 統治（筑波大学 教育学系）

司会：塚田 泰彦（筑波大学 教育学系）

II. 理事選挙

下記の日程で理事（任期：平成17年学会大会から平成19年度学会大会時まで）選挙が実施された。

- 1) 選挙公示：10月7日
- 2) 投票期間：10月7日(木)から11月8日(月)
- 3) 開 票：11月17日(水)

### Ⅲ. 学会会報

第5号を6月15日に、第6号を12月15日に発行した。

### Ⅳ. 12月末現在会員数：313名

## 『筑波教育学研究』投稿規程

1. 投稿者は筑波大学教育学会会員であること。ただし依頼論文についてはこの限りではない。
2. 機関誌への投稿内容は、未刊行のものに限る。
3. 論文の投稿は、原則として、ワードプロセッサを使用し、横書き、A4版用紙1頁あたり40字×30行で作成し、注および引用文献を含めて16,000字（400字詰め原稿用紙40枚相当）程度とする。
4. 原稿の締め切りは9月末日とする。
5. 論文には英文タイトルを付記するとともに、邦文による400字程度のサマリーを付す。
6. 投稿にあたっては、原稿3部、およびMS-DOSテキストファイルに変換したフロッピー1部を送付するものとする。原稿およびフロッピーは原則として返還しない。
7. 研究論文とは別に、研究ノートの投稿も受け付ける。その際、規程3-6項に準拠する。
8. 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
9. 原稿は、氏名（ふりがな、および英文表記）、所属（ふりがな、および英文表記）、自宅住所（郵便番号、電話番号）、利用可能な場合、ファックス番号、メールアドレスを付記して、下記に送付するものとする。

### 記

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系内

筑波大学教育学会編集委員会

## 編集後記

『筑波教育学研究』第3号をお届けします。

この第3号には、投稿論文7編（研究論文5編、研究ノート1編、実践報告1編）、書評論文3編、研究動向1編の他に、2編の貴重な論考を掲載することができました。倉澤先生の特別寄稿と佐々木先生の依頼論文です。お二人の先生には、新生間もない本学会の機関誌のために、ご多忙の中を押してご執筆いただきました。日頃大所高所から変わらぬご指導をいただいておりますが、今回お寄せいただいたご論考は刺激に満ちたもので、会員の皆様に魅了することでしょう。この場を借りてご執筆のお礼を申し上げます。

また、比較的短い期日でのお願いにもかかわらず、書評論文の依頼を快くお引き受けいただき、充実した論評をお寄せいただきました3人の先生方にもお礼を申し上げます。

創刊号、第2号、第3号と刊行の度に投稿原稿や依頼原稿の掲載枠が拡大し、ようやく質量相整った機関誌として軌道に乗ったのではないかと自負しております。本誌が短期間にここまで充実することができたのは、ご寄稿いただいた会員の方々をはじめ刊行にご尽力いただいた多くの関係者のお力添えによるものですが、巻頭言の執筆をはじめ様々な視点から最新の研究成果に厳しい目配りをして編集作業をリードされた宮寺編集長のリーダーシップに負うところが大きいことも特記しなければなりません。最近では、学術研究の成果を発信する媒体も機会も多様化し、投稿原稿が集まりにくい機関誌も出てきております。しかし、本誌は次号以降も発展しつづける機関誌でありたいと願っております。

（塚田泰彦）

# 筑波大学教育学会編集委員会

## 編集委員会委員長

宮寺 晃夫 (筑波大学)  
(amiyade@human.tsukuba.ac.jp)

## 編集委員会

飯田 浩之 (筑波大学)  
大坂 治 (北海道教育大学)  
大崎 功雄 (北海道教育大学)  
岡部 善平 (小樽商科大学)  
小島 弘道 (筑波大学)  
庄司 一子 (筑波大学)  
塚田 泰彦 (筑波大学)  
鶴岡 義彦 (千葉大学)  
野島 正也 (文教大学)

## 編集幹事

平井 悠介 (筑波大学大学院)  
(youhirai@human.tsukuba.ac.jp)

## 筑波教育学研究 第3号

---

2005年3月20日 発行

編集・発行 筑波大学教育学会  
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
印刷 株式会社いなもと印刷  
電話 029(826)1221

---